

品証より 緊急事態

6月 7月と客先納入不良が多発

★6月 ロー付け不具合による後工程流出が多い

ロー付け部のロー材不足によるロー切れが 後工程に大量に流出！

ロー切れの状態のまま お客様まで流れている

緊急対応のお願い

ロー付け者への教育、作業観察を実施
納得いくまで確認をしてください

ロー付け外観の教育

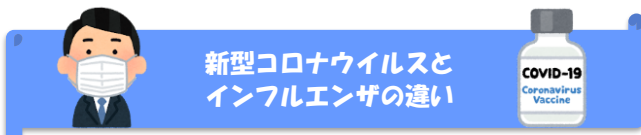
ロー付け者、気密者に限定せず、全員でロー付け部を確認するぐらいの気持ちを持ちましょう。

渡辺製作所 九州工場 従業員の方全員へ

納入に追われ 毎日奮闘しているのは 理解していますが、今一度
15の基準標準を思い出し

①仮置きをしない → NGハンガー、NG箱に必ず1本出たら入れてください

②まあいいやで流さない → 判断に迷っても 勝手に決めない



新型コロナウイルスと
インフルエンザの違い

新型コロナウイルスは夏以降、減少傾向が続
き、水際対策が緩和され、全国旅行支援も始ま
りました。

専門家が懸念しているのが、これから冬にかけ
て新型コロナウイルスとインフルエンザが同時
流行する可能性が高いということです。

そこで新型コロナウイルスとインフルエンザの
違いについて紹介します。

救急集中治療医が教える正しい
感染症のエキスパート

新型コロナウイルスと インフルエンザの違い

中田孝明先生 谷口俊文先生
千葉大学医学部附属病院
感染症科 講師

インフルエンザと比べてわかる 新型コロナウイルスの特徴

新型コロナウイルスのここにご注意!

- ①無症状の時期にウイルス排出増加
感染後、無症状の時期に
上気道(のど、鼻)への
ウイルス排出が多く、
飛沫による
感染が多い
- ②潜伏期間が長い(2-14日)
ウイルスに感染
しても症状を自覚
しない内に広め
てしまう可能性アリ
- ③感染力が高い
1人の感染者が直接感染
できる人数が多く拡大しやすい
- ④発症後、症状消失までが長い
つらい!
- ⑤肺炎になりやすい
下気道(気管、肺)が
おもな感染部位なので
肺炎になりやすい
- ⑥接触や飛沫の他にトイレも...
便からの感染も考えられており
トイレで感染する可能性も

インフルエンザはこんな感じ

- ・潜伏期間が短い(平均2日)
すぐに発症も自覚し感染拡大
させやすい行動ができる
- ・上気道(のど、鼻)へ主に感染
肺炎になりにくい
- ・病ウイルス量が少ないため
・ワクチンもある
・症状も比較的
・経過は急速に発症し
多くは4-6日程度で症状消失

「まだわからない」や「研究中」も沢山

アビガン(一般名ファビピラビル)や
ベクリリ(一般名レムデシビル)
等の薬剤は薬の効果が
まだ研究中です。

稀な重症の
問題もある
時期があります

原因は不明ですが、
子供は重症化
しにくいです。

死亡率や
回復(肺機能)
も不明です。

重症化(呼吸器)
もまだわかりません。

新型コロナウイルスは発症した時にほもる原因へ感染させる可能性が高いです。
症状がない人も含めてみんながマスクをするこが
感染伝播を抑制することになるのだと思います。(谷口先生)

有効なワクチン、治療薬が整うまでは、ソーシャルディスタンスが有効ですね。(中田先生)

発行: Smart119 (Smart119.jp)
©販売: SARS-CoV-2, SARS-CoV-2およびインフルエンザの感染伝播の違い | <https://smart119.biz/covid-19/0000080.html>

